

「2023年度中国・浙江大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学工学部4年 武木田 真生

① 学習成果

中国語のレベル、特に聞き取り能力について向上した。プログラム参加前は、HSK4 級レベルのリスニングテストがほとんど聞き取れなかったが、帰国後には聞き取れるようになっており、聞き取り能力の向上を実感することができた。中国での授業は先生が中国語を話すため、何を話しているか全てを聞き取ることは難しかった。そのため、授業中は先生の中国語に集中することになり、結果として聞き取り能力が向上した。また、日本以外からの留学生と会話をする際に中国語を使用したため、中国語を用いた会話力も向上した。

② 海外での経験

日本で普通に生活していると中国国内の情報に触れる機会はほとんどないため、実際の中国での生活は新鮮だった。特に驚いたのは、電子決済が普及していることと、セキュリティが厳しいことだった。飲食店のみならず、タクシー、地下鉄、バスなどの交通手段や、植物園への入場も電子決済で行われ、大学の授業料支払い以外では一度も現金を使わなかった。セキュリティに関しては、大学に入る際に顔認証が必要であったり、地下鉄に乗るたびに鞆や飲み物をチェックされるなど、日本と比べるとかなり厳しかった。

③ プログラム内容

平日は授業が2コマあり長期留学中の学生と一緒に授業を受ける。授業後はさまざまな活動が浙江大学側から提供され、大学のバスで博物館や観光地へ行くことができる。週末は上海、蘇州などの近くの都市へ観光に行くことが推奨されており、私は上海を観光した。中国語の学習と現地の体験の両方がバランス良く組み込まれていた。

④ 進路への影響

進路へ大きな影響はないが、機会があれば、中国語圏への長期留学もしてみたい。中国は地理的に近く、歴史的、文化的な結びつきもあるため、今後も中国語学習を続けていこうと思った。